

*今のように継続して欲しい。子どもが病気になったらすぐに連れて行けるので、とても助かっています。大人のようにもう少し症状を見てから（ひどくなってから）と思うことがなくなりました。

*うちは双子ですが、2人とも喘息です。また1人は心臓の病気もあるので、病院（小児科）を利用する回数も多い。負担額が減って本当に助かっています。できるだけこの制度を続けて欲しいと思っています。

*現物給付は非常によい制度ですので、継続して下さい。もっと早く取り入れられたら良かったのに…とも思いますが。

*長崎市で「現物給付」が始まり、とても助かっています。わが家には慢性疾患の子がいるので、病院代、薬代は大きな出費なのです。また「償還払い」の際は、支所や市役所への窓口提出なので、別途駐車場代までかかり、とても残念な思いがしていました。誰でも好き好んで病気になる訳ではありません。安心して医療が受けられるよう（特に将来ある幼児）、お願いしたいものです。

*小学生までは現物給付制度にして欲しい。

*本当に助かっています。以前は領収書を無くしたりしていたので、ほぼ全部自費で払っていたので！！子どもをすぐ病院に連れて行くようになりました。

*医療費助成を等しく受けるためには「現物給付」は必要だと思う。子どもをもつ家庭の忙しさの中で、書類記入や役場に提出する労力を考えると、少額だから…ともならないケースが多いと思う。明らかにそのパターンを狙っている補助金減額は、少子化対策の流れに反していると思う。県民、国民すべてが等しく子どもを宝として育てるためには、医療費すべてを無料にして良いと思う。

*自治体によって「現物給付制度」の実施、実施しないの差があることは不公平感を覚えます。できれば全国的に、全国的に実施して欲しいと思います。

*子どもの医療費は、小学校入学前まで無料にして欲しいです。

*医療費助成は現在、小学校入学前までですが、小学校3年くらいまで年齢を上げて欲しい。

*長崎は子どもに対して厳しい。医療費助成も未就学に限らず、もっと幅を広げるべき。福岡市や首都圏をもっと見習って住みやすい町にして欲しい。

*長崎の医療費に関する福祉は、他県に比べて最低の水準であるとお聞きしたことがあります（長崎に転勤等で来られた方からいつもびっくりされています）。一般の市民は「補助金」の減額がどういう意味か、どういう点があるか、あまり理解されていないのではないのでしょうか？！利用するには便利でも、結局、市民にとっては不利になるなんて、子どもの医療費に関することぐらい、国のレベルで地域的な差別がなければ一番良いことだと思います。無理でしょうが…。

*私自身は共済なので、お金をいつも用意しておかなければいけないが、現物給付制度は家計の苦しい時でも子どもを病院にすぐに連れて行くことができ、重病になることを防ぐことができると思う。

*「現物給付制度」が開始されて以来、「手持ち金が無いから病院に連れて行けない」ということが無くなったので、子どもの健康を守れるようになりました。正直、「なぜ、就学前までなのか？」という不満があり、4月からまた病院に行けなくなりそうで、とても不安です！！

*現物給付によって市の財政はダウンしているのに、補助金の減額はなぜなのかよく分かりません。全国的にほとんど現物給付なのに、長崎はなかなか進まないと思います。

*少子化対策や子育て支援と言われる今、小学校の間までは助成が必要と思う。小学校になったからと言って病気等が無くなるわけではない！やっと都心部のように現物給付になったと思ったら、削減とは、考えられない。

*現物給付制度を利用できず、負担は従来どおりだが、「現物給付制度」は評価できる。それ故に補助金を減額するのはおかしいと思う。国として実施して欲しい。

*インフルエンザの予防接種は無料で受けさせて欲しいです。

*長崎県では長崎市だけが実施しているとのことですが、全国で見ればしているところもあると聞きました。少子

化の時代、子どもに対して、もっとお金を使うべきだと思います。子どもをもう1人欲しいと思っても、金銭的（経済的）な理由で不安があるので、産めないのも現実です！！子どもがまだ小さな時は、医療費がとてもかかるんですよ！！自分たちは病院に行くのをがまんしても、やっぱり子ども達にはきちんと受診させたいです！！

*補助金を減額するというのはとても考えられません。現物給付で手間が省けるのは大変ありがたい。それなのになぜ補助金削減？償還払いで手続きをされない方の医療費はお知らせせずにそのまま？それを見込んでの制度だったのでしたらとても残念です。

*現物給付制度は財布の中身を心配しないで受診できるので、とても助かっています。医療費助成の年齢を引き上げて欲しいです。

*現物給付になる以前は申請のわずらわしさから、申請をしないこともよくあったのですが、現物給付になってからは漏れなく助成していただけるようになったので、非常に助かっています。

*少子化が問題になっている今、とても良い制度だと思います。それをカットするなんて、考えられません。

*以前の償還払いだと、病院に定期的によく通院する場合、その枚数分申請書を書かなくてはいけなかったので手間だった。

*補助金のカットにより、もし自己負担が上がるようになれば子育てしていく家庭は家計が圧迫される。少子化がまた進むのではないですか。

*「現物給付制度」はぜひ続けるべき。少子化対策としても、医療費助成の額を増やして欲しい。1ヶ月1,600円の自己負担は高い。

*子どもが少なくなっている現状で、補助金を減額する方針は、さらに子どもを産み育てにくい環境をつくってしまう機がします。子どもの小さいうちは病院にかかる機会が非常に多く、経済的に負担になる世帯も多いと思いますので、せめて小学生までは医療費の助成をしていくべきだと思います。よろしく願い申し上げます。

*小さい子どもがいると手続きをしに行くとても大変だったので、親としての立場だけで言えばとてもありがたいと思います。今の少子化を考えると、何としても長崎県知事に頑張ってもらって、補助金削減はやめて欲しいです。お願いいたします。

*子どもが小さい時は病気にかかることも多く、また、小さな事でも心配な心配なためよく通院すると思うので、このまま助成制度を続けて欲しいと思います。また、手続きも、慌ただしい日々の中でなかなか大変なので、今のまま現物給付でお願いしたいです。

*他県は子どもの医療費は完全無料のところが多いのに、1,800円/月は支払うのに高いと思う。

*小児科は薬を3日分くらいしかもらえず、度々行かないといけないので、この制度が無いと負担がかかる。補助金削減は反対である。

*うちは子どもがあまり病気をしないので使用したことが無かったが、職場で働いていても生活が大変らしく、なかなか病院に連れて行けない人もいます。国も大変でしょうが、子どもと年寄りに必要なものは少なくとも重視していただきたいです。そのために、私たちは働いて税金を納めさせていただいていると考えています。

*子ども2人が一つの病院なら考えもしますが、何ヶ所か受診すると2人だと料金がかさんでくるので、良い方向に変わればと思っています。

*補助金がカットされた場合、市が負担することになるのですか？それとも利用者ですか？

*補助金をカットするのはおかしいと思います。少子化や不景気が続く中、子ども1人を育てるのに多額な費用がかかります。現物給付制度があるから子どもの医療費の負担を考えずに病院に行くことができる。とても良い制度だと思います。



*福岡県等他の県では長崎市より先に実施されているいし、他の県より遅れていると思います。長崎県は他の県に比べて不景気だし、給与が低いうえ物価が高い。補助金をカットすると収入が少ない世帯は子どもが病気になっても連れて行けなくなり、少子化を進めることになると思います。絶対にやめて下さい。

*入学前までを、もっと引き上げて欲しい。小学校6年生くらいまでにして欲しい。

*減額する部分が子どもに関することになるのはおかしい。少子化問題について真剣に考えるなら、子どものいる家庭に補助していく方向性で考えて欲しいと思う。

*自治体によって制度が違うことには以前から違和感がありました。今回（今年4月より）長崎市は良い方向に転換しましたが、まだまだ全国的にも多方面で異なる事項も多いようです。他の自治体の良いところを取り入れて、子ども達にとっても、親にとっても受診しやすい環境にして欲しい。

*大学、原爆等、大きな病院での使用ができないのが不便である。結局、手続きをしないといけないので、どうにかできないのか。

*「少子化」とは言いながら補助金をカットしていくことに非常に矛盾を感じます。これから出産する人も、今現在、子育てしている私たちを含めて、本当に意味のある「支援」を考えてもらいたいと思います。

*自分で後から手続きをするのと比べて、今の制度は助かります。子どもは病気がどうしても多いので、「お金がないから病院に行けない」ということにならないよう、子どものために助成制度を考えて欲しい。

*助成分を戻す手続きをしなくて良いので、共働きの夫婦にとっては助かります。子どもの医療福祉などの改革に力を入れることにより、少子化対策にもつながると思います。

*私の実家がある市（県外）は、子どもの医療費はカードの提示で全額無料になるそうです。子どもの医療費は必要なものです。安心して病院にかかれる制度を国として実施して欲しいです。地域格差があるのはおかしいと思います。また、以前知事が「医療費を申請しないのはいらないからでしょう」という趣旨の発言をしているのをTVで見ました。これは現状を全く知らない人の発言です。働く親は昼間、役所に申請に行くなどできるわけがありません。もっと利用者の声、現場の声を聞いていただいて、本当に必要なことに税金を使って欲しい。

*保育園の民営化に対しても、子どもの福祉をまずカットしていくのはおかしいと思う。このような制度がもっと広がれば、親はとても助かると思う。わが家のように定期的に病院へ通い、365日薬を飲まないといけないような家庭はとてもありがたい制度です。なぜ、小さな子どもやお年寄りに不利になるようなところからいろいろとカットするのでしょうか。もっと別の部分でカットできるところがあると思います。このような制度は無くさないで欲しいと心から思います。できれば小学生在学中までに延ばしてもらえたらいいなと思います。

*私は現物給付より、医療費助成の対象年齢が伸びる方を希望します。

*どうせ書いても役人は受け入れてくれない。

*任意の予防接種の中でも、インフルエンザなど、必要性が高いものについては助成していただけると助かります。

*インフルエンザの予防接種なども助成して欲しいです。

*「県が補助金を減額する方針」とは、あまり意味が分からない。現物給付制度を実施しているのはなぜなんだろうと思う。

*支払う金額は同じだとしても、市役所や支所に行ったり、書類に記入したりするのに手間がかかって大変だと思っていたので（以前は）、現物給付になってとても助かっています。小さい子どもがいるので、特にそう思います。これからも続けていって欲しいです。県からの補助金がカットされると、制度が変更になったりしないでしょうか？

*申請する手間が無くなったので、とても助かります。ありがとうございました。ただ、医療費の全額免除という県・都も全国にあるので、長崎県もそうして欲しいです。免除の年齢も広げて欲しいです。補助金の減額なんて、論外です。

*今どこも財源に困っているのであれば、休日や夜間の受診分については別に自己負担（別の上限額）があってもいいんじゃないかと思う。

*長与の方でも現物給付制度を取り入れて欲しい。

*国策として実施していただき、県外でも利用できるようにしてもらいたい。

- * 1 番病気をするのが子どもなので、できればもう少し受給できる年齢を引き上げて欲しい。
- * 働いている母親にとっては現物給付制度は良い制度だと思います。医療費を市町村窓口へ申請していく時間はなかなか取れません。
- * 少子化を問題にしているのに、子どもの医療費助成をカットするというのはおかしいと思います。
- * なぜ現物給付だと予算をカットするのか理由が分からない。
- * 子どもは風邪をひきやすく受診する回数も多いので、すごく助かる。
- * 二女が離れているので、「福祉医療費受給者証」を利用したのは初めてです。乳児の時はいろいろ自分で手続きしなければいけなかったのが面倒で、漏れが多かったと思います。今回、現物給付制度で漏れが無くなり助かっています。
- * 子どもの医療費は無料にして欲しい。少子化と言っているが、あまり変わっていないような機がする。
- * 長崎市内の病院では利用できましたが、他の市町村や他府県では利用できませんでした。国として制度を整えば、全国どこでも利用できるのに、と思いました。
- * 補助金が無いと困るようでは子育てはできないように思うが。国の将来のため、子どもの数を増やすという目的では効果的だと思います。やはり子どもがいると労働時間が減ります。私は1人で育てているので。
- * 将来を担う子どもの医療費の助成をもっと多くしてもらいたい。無駄な行政に大切な税金を使わないで下さい！！
- * 「現物給付制度」はすごく助かっています。県の方針は県民の望むことを無視しています。いらない道路よりも、まず子どものため未来のために、考えて欲しいと思います。
- * 現物給付制度はとても良いと思う。長崎県内全域で実施して欲しい。
- * 乳幼児期の子どもは通院する確率がとても高く、医療費にかかる自己負担分がかなり多いので、長崎市のみならず県、国として現物給付制度を実施して欲しい。
- * 国はこういう事には惜しまずお金を使って貰いたいと思います。少しでも安心して子どもを産めるよう、このような制度をもっと充実させるべきだと思います。
- * 他の地方自治体には一部負担金も無いところもあるので、長崎市にも頑張ってもらいたい。
- * 助成分を戻してもらおう手続きの事を今まで知らない方には、特に良い制度だと思います。
- * 福祉医療費受給者証（ピンク色の紙）を1枚1枚書くことがすごく大変だったので、現物給付制度になり、とっても助かっています。でも他県に比べてちょっと高いかな～と思っています。もう少し安くなればいいのですが！！
- * ピンクの紙を財布に入れやすいように、車の免許証のように固くコンパクトにして欲しいです。今のままだと持ち歩きにくいし、無くしそうです。
- * 小学校までにして欲しい。インフルエンザの予防接種など2回なのに、大人と一緒にどうかなと思う。
- * 長崎自体が赤字で大変だろうから、良い制度ではあるが、その他にも削減等はあるのだろうと思ひ、あきらめている。
- * 生活が苦しくなることもある。病院に行った時にピンクの紙を忘れる事が多いです。
- * 受給者証を毎回見せなくても、同じような制度で行って欲しい。
- * この制度があるため助かっています。
- * 現物給付制度はとてもありがたいです。小さい子ほど病院にかかる回数は多いので…。いったん支払う必要がな

く、市への請求手続きも必要ないので、とても助かっている。市町村での格差が無いよう、できれば国として実施して欲しい。

* 便利な制度なので必要だと思います。

* 「現物給付」は一度に支払う金額が決まっているので、家計に安心。とても良い制度だと感じる。転勤が多いので、他の自治体も実施して欲しい。

* 福祉医療費受給者証の大きさが保険証と同じカードの大きさだと良いと思う。子どもが病気で病院にかかる時はバタバタしている事が多いので、ピンクの紙だけ保管場所を別にしてしまうと忘れてしまったり、無くしてしまったりしそうです。カード型になることを祈っています。

* 1ヶ所の医療機関で1ヶ月 1,600 円でなく、1回の受診料 200 円くらい、薬は無料のような制度が望ましいです。

* 大変良い制度で、皆さん助かっていると思います。今後も維持していただくよう希望します。

* 今後就学前の子どもではなく、小学校の子どもまでに年齢が引き上げられることを望みます。もしそうなるのであれば、現物給付にはこだわりません。

* 2007年4月から長崎市に転入したので、それまでと比べることはできませんが、それまで住んでいたところは就学前まで無料だったので、特に助かるとは思えない。都道府県によってバラバラなのではなく、簡単なことではないのはよく分かるが、全国で6歳までは医療費がかからないのが理想と思う。

* 私は他県から来た者ですが、病院の窓口で支払う代金も無料、薬局でも無料だったため、とても驚きました。ごく当たり前のことだと思います。

* 現物給付対象年齢を上げて欲しい。

* 小学校に入るまでは何かと病気になり、1ヶ月の医療費もかなり負担になるのに、補助金を減額するのはおかしいと思う。自治体では医療費が学校に入るまでは無料のところもあるので、長崎市も考えて欲しい。

* 小学校6年生まで医療費助成をして欲しい。

* 「現物給付」になり、とても助かりました。今後は就学前までではなく、中学校入学前まで延長できるよう努力していただきたいです。

* 以前は書類を書く時間や提出する手間を考えると、少しの金額はあきらめたりしていました(金額が変わるので分からなくなることあり)。今はとても助かっています。子どもの数は減っているはずなので、補助金減額はおかしいと思います。県全体の財政支出の見直しをするべきだと思います。

* 補助金カットで一律にすべての家庭で負担が増えることになれば困るので、償還払いに戻して、必要な人だけ戻すようにしたらどうか。経済的に豊かな人は手続きに行かないと思うが。

* 子どもを育てる上での負担を減らす意味でも、県全体で現物給付を実施した方が良いと思う。少子化対策の一つになるのでは…?

* 小学校就学前までに限らず、もっと助成を受けられるよう年齢を上げて欲しい。低学年のうちはまだまだ色々な病気にかかりやすい。持病を持っている子(喘息等)の診察代も、小学校入学後も助成を考慮していただきたい。

* 子どもが少ないのに、もう少し家庭の負担を減らして欲しい。年齢を上げるか、全額助成して欲しい。

* 現物給付制度になって窓口で支払う金額が少なくなり、本当に助かっています。

* 他の市(県外)では、喘息などの特定の子どもの医療費は負担が無いと聞きました。その土地によって環境が違うのは分かりますが、長期に内服治療を必要としている子どももその地区以外にもいますので、小学校卒業まで、医療費の助成をしていただけたら非常に助かります。

* 福祉や子どもの医療費のための助成削減はおかしいと思う。できることなら義務教育の範囲内でも年齢を伸ばして欲しいくらいだ。現物給付でとても助かっている。

- *親の収入等に限らず、子どもに対しての医療費助成制度はみんな平等（例：生活保護）にして欲しい。
- *自己負担分が 800 円でも高いと思う。私の実家（横浜）では無料です。ただ給付対象が3歳から小学校就学前までになったのはとても助かっています。もう少し早く実施されれば（上の子どもも適応されたのに）と思いました。子どもは病気をして成長していくのだから、高い税金を払っている国民のためにもっと還元して欲しいと思います。
- *現物給付制度を長崎市以外でも実施して欲しい。補助金削減反対。医療費助成制度は小学校就学前の子どもだけでなく、年齢を上げて欲しい。子育てにやさしい県をめざして欲しい。
- *少子化なのでもっともーと子どものためにお金を使って欲しいです。
- *受診の時に支払う金額が分かっているので、とても助かります。しかし、よく利用する小児科が長与町にと長崎市の境にあって、住所が長与町のため制度が利用できず、とても残念です。病院は変えたくないし…との思いです。
- *県は補助金削減の1億円を何に使うのか気になる。
- *補助金は絶対にカットしないで欲しい。就学児童にも医療費助成制度を拡充して欲しい。
- *小学校に入学してから病気やケガが多くなるので、せめて義務教育中は助成して欲しいです。
- *地方職員共済組合なので現物給付は受けられていない。現物給付は、特に乳児をもつ母親にはいろいろな面で負担が少なく、大変良いと思う。
- *持病やアレルギーのある子どもは定期的な通院が必要で、医療費が結構かさみます。このような持病の分だけでも、もう少し高年齢まで助成があればと思っています。
- *県、市町村によって助成される期間の違いがあること、また自己負担金額にも違いがあることに納得できません。
- *現物給付制度の実施はとてありがたく素晴らしいことだと受け止めております。しかし、就学前に限定されるので、それ以上を対象にできないものかと願っております。他県では医療費は全額支給される場所もありますので、せめて対象年齢の幅を広くしてもらいたいと思います。どうぞ、子ども達の未来のためによりしくお願いいたします。
- *他の市町村での実施を強く要望。
- *就学前の子どもだけではなく、小学校在学中まで助成制度を伸ばして欲しい。
- *県、市町村によって助成される期間に違いがあることが納得できません。
- *受給者証を持参するのを忘れて、長与町の小児科を受診するので利用したことがない。
- *長崎は子どもに対する医療費助成が少なすぎる！！長崎は子育てしにくい！1「現物給付」になり少しはましになったが、他県と比べたら家庭の負担が大きすぎる！！長崎は全体的に子育てしにくい町。子育て全体に冷たいので住みたくない！！子どもの多い家庭には辛い。
- *現物給付制度はとてありがたい制度で、大変助かっています。補助金を減額したら市の負担増になるので、やめてもらえたらと思います。
- *予防接種（インフルエンザ）などはなぜ対象外？生活へ響きます。
- *幼い子どもはすぐに病気になり、大人と違って病院へ行く回数も多くなってしまいます。家計のことを考えると、この制度はとて助かっています。
- *長崎市の現物給付には大変感謝しているのですが、県内、県外で地域差があるのは寂しさを感じます。子育て中の親にとって心強い医療費助成制度をよりよく守って欲しいものです。
- *現物給付が始まってから払い戻しの手続きが無くなり、とて助かっています（事務所も遠く郵送だったので）。十分、満足しています。

*補助金削減の意図、説明が不足すぎる。手続き（現物給付でない時）をしない県民には医療費の返金は必要ない、と頭から押しつける県の方針にはとても不満を感じます。

*これからも続けて欲しいと思います。以前は行くたびに子ども2人分、薬局分と1ヶ月に4枚書いていました。はっきり言って、時間のムダだと思いました。他県から来て、とても面倒臭かった。今の方がとても良いです。

*私は地方職員共済なので現物給付ではありませんが、この制度は小さい子どもを持つ親としてはとても良い制度だと思います。子どもはよく熱を出したり、病気をします。市販の薬をだらだらと飲ませるより、すぐに病院に連れて行き、2～3日分の薬をもらえば、大体治ることが多いです。子どもの医療費助成制度は家計の負担を軽減してくれて助かります。「補助金」削減ではなく、もっと増やして欲しいくらいです。もっと子どもを産み、育てやすい環境をつくって欲しい…と県にお願いしたいですね。

*現物給付制度は自治体にとっては負担が大きいですが、本当に利用者の立場を考えるなら、この制度にすべき。自治体によって制度が異なるのはおかしい（できれば金額も同じに）。

*小学生も対応して欲しい。

*大学病院での使用が不可能だったが、その理由が知りたい。他にも使用不可の所があるのか？

*小さい子どもがいる間はとても助かる制度だと思います。子どもにお金をかけて（医療、教育面）欲しいです。医療費受給者証の用紙を保険証と同じ大きさにして欲しいです。無くしやすい大きさだと思います。

*医療費助成を小学生まで延長して欲しいです。

*就学前の子どもを持つ親の間では、良い制度で助かるということで喜んでいますが。特に就学前の子どもは急な病気や発熱等が多いですが、病院にかかる際に財布の中身を心配しなくて済みます。特に薬代はいくらかかるのかが読めません。急な対応にも安心できます。わずらわしい手続きも減り、仕事をもっている私にはすごく助かります。良い制度だと実感しています。

*小学生になっても助成をしてもらえると助かります。

*夜間の病院に行く時、手持ちがない時など助かっています。他の市に住んでいる妹に聞いたら、現物給付にして欲しいけど、財源が少ないのでできない、と言っていました。小さい市町村では難しいと。市町村で違いがなく助成されると嬉しく思います。

*今までは月に何回もお金を支払って病院に行かなければいけなくて、お金に困っている時は大変でした。月1,600円と限度が決まり、行きやすくなりました。

*昔よりは福祉はよくなっていますが、他の県に比べてまだまだ遅れていると思います。一つの医療機関につき、個人負担分は最大1,600円までですが、小さい子どもはよく病気になりますし、同時に2,3ヶ所の医療器簡易に通うケースも多々あります。毎月の受診料は結構な負担となりますので、もっと個人負担額を減らして欲しいです。

*母子家庭の母の分の医療費助成も現物給付にして欲しい。

*小学校入学前の子どもが多い（複数）家庭にとっては、非常に良い制度だと思う。

*働く親にとって償還払い制度は大変わずらわしく、領収証を紛失したりして請求漏れがありましたが、現物給付制度に変わって大変助かっています。少子化を防ぐためには、このようにまず親に優しい制度を増やしていくことが大切だと思います。補助金を削減するという県の方針はぜひ見直してもらいたいと思います。

*今後、就学前までとかではなく、小学校卒業までに期間を伸ばして欲しいです。こういうことに使っていただくために税金を払っているんですから。ぜひ、ご検討下さい！！

*子どもの健康、すこやかな成長のためにも非常に助かる制度だと思います。ぜひ、続けて欲しいです。次に子どもをつくる時にも助かります。

*子どもが多くなると、特に手続き漏れが多くなるので、本当に助かりました。長崎市として良いものはどんどん改善して欲しいと思います。ありがとうございました。

*この制度を知ってから、今まで面倒だった書類書きが無くなると喜んでいたら、地方職員共済組合は計算方法が異なるため従前どおりと知り、ショックでした。皆、この制度が使用できれば便利です。

*就学してしまうと、アトピーや喘息などの疾病を持っている子どもは、持病のない子どもより医療費の負担が高くなります。そこら辺をもう少し考慮して欲しいです。

*「福祉医療費受給者証」が紙でできていて、大きさも大きいので、持ち歩くのに不便を感じる。折り曲げて持ち歩くと、小学校就学前まで状態が持つか不安です。子どもの数に応じて、もう少し助成してもらえると助かります。

*良い制度なので、義務教育の間（中学卒業まで）対象にして欲しい。他の市町村でも実施して欲しい。

*少子化の時代だから、医療費助成の年齢を入学前から小学校卒業か、中学校卒業までに延長して欲しい。

*利用者の立場に立つと、県がなぜこの制度に難色を示しているのか理解できません。県の財政が厳しく、少しでも支出を防ぎたいがために手続きを煩雑にしているとしか思えません。県の補助金が減額されると、市も厳しいとは思いますが、ぜひ続けて下さい。できれば小学校3年生（9歳）位までに対象を広げていただけたら、とても助かります。

*医療費助成制度の年齢を小学校低学年までにして欲しい。身体がまだ強くなっていないので、良く風邪をひいたりするから。

*県はどうしてカットするのが分からない。結局は税金を正しく使っていないのではないか。行政のムダ、ムラを無くするのが良い方法だと思う。現物給付制度は賛成です。しかし、どこかにひずみが生まれる制度は意味がないと思うし、受け皿を確保し、子どもがいる家庭が、もっと子どもを増やしていける市、県、国であって欲しいと思います。正直、5人を育てるのは大変！！教育費はこれからどれ位かかるのか…。

*すべての子どもに現物給付をして欲しい。現に申請していない分が2年分ほどある。“たった1枚ちょっと書くだけ”と思われるだろうが、1枚1枚書いて（それも病院別）支所等に持って行くのは、小さい子どもがいるところは大変だと思う。また、共済は保険の種類が違うというだけで対象外になるのは、不平等だと思う。

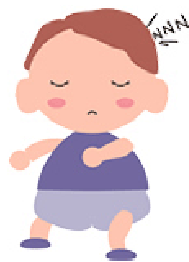
*医療費助成制度の対象年齢をもう少し上げて欲しいです。できれば小学生低学年までは…。あとインフルエンザ予防接種についても、もっと助成して欲しい。2回接種で負担金大きいので。現物給付制度は大変助かっています。

*自己負担額をゼロにして欲しい。少子化対策として、子どもを持つ家庭に負担をかけないようにするべき。長崎市の現物給付制度は今までなかったのが不思議なくらい。ただ、地方職員共済が利用できないのが残念。

*慢性特定疾患で生まれ、病院代の補助はありますが、生きていくために薬を飲むと、副作用に苦しみ、副作用を抑える薬など、何かとお金が必要です。せめてそういう子どもには減額はやめて欲しいです。

*いつ、どこで病院にかかるのか分からないので、県下また県外でもピンクカード提示で支払いができると助かります。

*現物給付はありがたいが、近隣の病院では対応していないので、現実としては従来どおりの手続きをすることが多い。それは仕方ないと思うので、制度の水準そのものが低下しないようにしてもらいたい。対象年齢を引き上げてもらえるとありがたいと思う。



*前のやり方だと紙も1回につき1枚、私はまとめて20～30枚たまってから出していたが、紙も勿体なかった。小さい時は風邪をひきやすく、負担が大きい。1回の受診だと2人だと7～8千円（薬代も入れると）かかる。他の県は中学3年生まで出ると聞いたが、これ以上の減額はあまりにも不公平だと思う。まだ子どもを産みたいが、長崎は何でも子どもに対しての助成が少ない。もうちょっと考えて欲しい。

*病院によっては現物給付の説明がない。薬局は全くないので、すべての病院でしていただきたい。

*この制度ができて大変助かっているが、従来どおりのシステムである病院があるのはどうしてでしょうか？我が子は長崎大学病院に通院することが多く、ここも現物給付制度が実施されれば助かるのにと、よく思います。

*もっと早く現物給付制度を入れるべきだったと思う。乳幼児は日常生活（特に両親共働き）でも手がかかるのに、助成分を戻してもらって手続きが面倒な上に、1～2ヶ月先の入金だったので、現物給付制度になり本当に助かっています。

*歯科医院では高額な場合もあるので現物給付は大変助かっている。就学前までしか利用できない制度なので、小学3～4年までにして欲しい。

*国は強い立場の人が住みやすい国を作りたいのか？と思うことが多々あります。便利で助かる制度はそのまま続けてほしいし、子どもが安心して病院を受診しやすい制度はあるべきだと思います。たくさんの書類を机の横に積んで事務処理をする人件費もそうとうかかるのでは？

*現物給付になり、とても助かっています。どうして補助金が減額されるのかわかりません。これだけ子育て支援をとられているのに?? 長崎市が現物支給にするにあたり、逆に費用がかかったのではないのでしょうか。補助金を増やす方が本当ではないのでしょうか。現物給付の手続きに下さり、ありがとうございます。

*受給者証をいつも持ち歩いてはいないので、職場から保育所に子どもをむかえに行き、その足で受診することが多く、後日持って来るように言われたり、取りに帰ったりで面倒と感じる事もあります。受給者証の形態に関する事以外は制度的には便利かもしれません。

*子どもの医療費助成制度をせめて小学生までに拡大していただけると大変助かります。小学生までは何かと病院にかかることも多く小学生になったとたん負担が増えたような感じがします。

*何を考えたらそんなバカなことを思いつけるのか？ 頭のカタイ馬鹿どもにはわからないかも知れないが、常識でものを考えよ。子どもの医療費を申請しない人がいるかも知れないから皆には返さないではなく、何人の子どもでもきちんと手続きなしで、（窓口で払わないでいいように）するべき。

*手続きの手間暇がなくなったので助かっている。持病がある子どもにとっては命を長くさせてもらっている感じがするので感謝しています。今後も小さな身体の一つの大きな命を一人でもたくさんの命を長崎県・国・世界でも救って欲しいと思います。

*最近では私達の育った時代よりも。いろいろなウイルスにより病気も様々です。予防接種も任意になり自費で受けています。病気がないことにこしたことはないですが、風邪もひかないと免疫もできませんし、手続き不要で助成して頂くとほんとに助かります。

*現物給付のおかげで手続き漏れもなくかなり助かっている。少子化といわれている世の中で子どもの医療費の家計の負担が多きいとますます少子化になると思います。補助金カットはおかしいと思います。

*新幹線の設置をするのに多額の予算を使うより、子どもの医療費の充実をさせて欲しい。

*医療費助成制度の通院（受診）の年齢制限をせめて小学生の間までだけでもあげてほしい。

*証明書を持っていない時は今までと同じだから、急な時はあまり今までとかわらない。

*9-1 これにつきます。誰がどうみても市役所や支所へ書類を提出する手間が省けて非常に助かっています。特に働く身には時間内に提出するのはほとんど無理です。郵送も可ですが切手代がかさみ利用したくありません。とにかく利用者の利便性を第一に考えてほしいです。

*私は子が3才まで他の県にいました。その自治体は、その当時から乳児医療は現物給付でした。なぜ自治体別なのか理由がわからない。福祉医療って国の制度ですよ？ 自治体の制度ですか？ もっと利用しやすい制度にしていただきたい。

*受け取る金額がこれまでと違うのですか？ 知りませんでした。

*受給者証をカードサイズか保険証サイズにしてもらわないと携帯するのが不便。現在折り曲げてサイフに入れているので印字が消えかけている。

*現物給付制度になる前、歯科受診しても手続きして良いかどうか分からず、手続きしていませんでした。でも現物給付になってから手続き漏れがないので、大変助かっています。でも、この制度を十分理解されていない歯科医院もあり、反対に聞かれたこともありました。もし、この制度を続けられるのであれば、どこの医院でも理解され

た上で行って欲しいなあと思います。

*できることならカードサイズになってくれると助かる。

*現物給付になってとても良かったと思います。でもうちの子ども達は喘息をもっており、小学生の長男は 365 日、薬を飲んでいます。昨年その子の医療費だけで5万円かかりました。医療費の助成の期間をもっと長くしていただければとても助かります。

*少子化の今、利用できる年齢を上げて欲しい。せめて小学校6年まで。

*少子化と言われている割りに子どもに対しての制度が悪いと思う。小学校までと年齢を制限せず、小学生が病気も多いので、助成制度を伸ばして欲しいです。

*小学校卒業までして欲しい。インフルエンザの予防接種の助成をもっと上げて欲しい。

*できれば小学生まで助成制度を延ばして欲しい。

*現物給付制度はとても良いと思います。手続きする手間が無くなったので。これからも市民に負担にならないような制度をつくっていただきたいです。

*現物給付制度はとても助かっているのに、補助金を削減されることで、償還払い制度に戻ってしまうことはすごく困ります！！

*とても良い制度で助かっているのに、今後同じサービスを受けられなくなるのは反対です。ぜひ、現状維持していただきたいです。

*少しずつでも良いので、子どもがいる家庭が困らないような制度に変えて欲しい。そうしないと子どもも増えないと思いますよ。

*子どもが産まれたばかりですが、低体重で出産したため入院が必要でした。退院後も風邪をひき、入院したりしました。1ヶ月で何十万という入院費でしたが、現物給付のおかげで本当に助かりました。1人目の時はこの制度が無かったので、病院へ連れて行くのを戸惑ってしまう時もありました。補助金を削減してこういう制度が無くなってしまうと、今後子どもを産みたくても産めない…という家庭も増えると思います。

*病院にかかることも多い時期（年齢）なので、医療費の負担もバカになりません。少子化の時代だから、より多くの方に出産していただき、こういう制度があると1人、2人と出産の人数も違ってくると思います。これからも現物給付制度は絶対必要です。

*子育てしやすい町を、本当に意見のある制度で実現して欲しいので、よろしく願いいたします。

*子どもの医療費助成はこのまま継続すべきだと思います。手続きをすれば助成金がもらえるというのは処理するのも大変です。

*福祉医療費受給者証の提示を毎回ではなく、月に1回くらいにして欲しい。

*共済組合も現物給付を実施して欲しい。

*子どもはしょっちゅう病気しますし、税金増や物価高で生活も苦しい中、現物給付はとても良い制度だと思います。助かっています。安易に受診や投薬を増やしてしまうのは良くないと思いますが、安心して子育てしていく上で医療費助成制度は大切だと思います。少子化に歯止めをかけるためにも、子育て支援は必須です。

*良い制度だと思います。

*以前、医療費助成のことで、私の意見として「私の育った県では医療費受給者証を見せれば全額免除（自己負担なし）になるので、長崎もそのようになれば良い」と書きました。2007年4月から助成分をもらう手続きをしなくて良いので、とても助かっています。ただ、県外で治療を受けた分は手続きをしたり、自己負担分があったりと、まだ乳幼児に対して問題があります。子どもをたくさん産んで欲しいというなら、医療費も自己負担を全額無くして欲しいです。

*便利になり、助かっています。大学病院などの場所でも使えたら、もっと助かります。